

年金業務・社会保険庁監視等委員会(第21回)議事要旨

1. 日時 平成21年11月24日(火) 14:00~14:55

2. 場所 中央合同庁舎第5号館16階委員会室

3. 出席者

(委員会) 葛西委員長 大宅委員長代理 磯村委員 岩瀬委員 住田委員

(総務省) 戸塚行政管理局長 田部事務室長 小森主任調査員 ほか

(厚生労働省) 岡崎総括審議官

(社会保険庁) 渡邊社会保険庁長官 薄井総務部長 石井運営部長 中野社会保険業務センター所長
福本運営部企画課長 井上運営部年金保険課長

4. 議事次第

(1) 厚生労働省・社会保険庁からのヒアリング

(2) その他

5. 会議経過

○ 社会保険庁から、年金記録問題の解決に向けた取り組みの進捗状況等について、以下の内容を中心とした説明があった。

- ・ 「ねんきん特別便」については、これまでに約1億900万人に送付し、約8003万人から回答があり、このうちの約95%の方について年金記録の確認作業が終了した。
- ・ 記録の解明作業については、引き続き「ねんきん特別便」のフォローアップ対策を進めるとともに、旧姓情報を活用した調査等に計画的に取り組んでいる。
- ・ 「ねんきん定期便」については、10月末までに3846万人に送付し、306万人から回答があった。
- ・ また、記録統合に伴う年金額の再裁定の処理については、事務処理体制を強化し処理期間の短縮に努めている。

このほか、受給者名寄せ便の処理促進のため、全国の市区町村に対し、電話番号等の連絡先情報の提供や年金記録確認調査の協力要請を行うことについて説明があった。

これらについて、委員からは、報告内容の事実確認や関連質問等があった。

○ 次回の委員会は、12月18日(金)開催予定

[文責 総務省(事務室)]